

中山間地域の学校における遠隔教育の推進について

1 目的

デジタル技術を活用した遠隔教育システムによる学習環境を整備することにより、中山間地域等に位置する県立高等学校の生徒が、地域を超えて専門性の高い授業や多様な人々との交流活動など質の高い学びを享受できる機会を提供し、探究的な学びの実現につながる教育活動を展開する。

2 現状

中山間地域の小規模校等では、全ての教科の教員配置（本務者）が難しいことや、大学や企業、博物館が近隣に少ないなど、都市部の学校と比べ、多様な価値観や高度な学びに触れる機会が限定されている。

3 概要

中山間地域等の小規模校等3校と都市部の学校1校の4校からなる3つのコンソーシアムを構築し、遠隔教育システムを整備する。

(1) 遠隔教育システム導入校

コンソーシアム	構成校
東	【拠点校】 福山誠之館高等学校 【連携校】 油木高等学校, 東城高等学校, 日彰館高等学校
中央	【拠点校】 呉三津田高等学校 【連携校】 大柿高等学校, 賀茂北高等学校, 大崎海星高等学校
西	【拠点校】 広島国泰寺高等学校 【連携校】 佐伯高等学校, 加計高等学校, 加計高等学校芸北分校

(2) 予算（国庫・単県）

43,885,528 円 （うち単県 31,436,368 円）

(3) 令和3年度に授業の一部で遠隔授業を試行する科目等

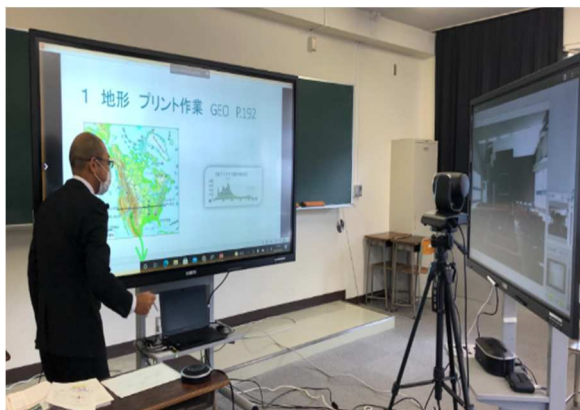
コンソーシアム	配信校	受信校	科目等
東	福山誠之館	油木	地理B※
		東城	コミュニケーション英語Ⅰ
			コミュニケーション英語Ⅱ
		日彰館	物理※
			政治・経済※
	英語表現Ⅰ		
	福山誠之館・油木・東城・日彰館 で合同		探究活動の中間発表※

（※は、試行を開始した科目等）

コンソーシアム	配信校	受信校	科目等
中央	呉三津田	大柿	地理A
			社会と情報※
		賀茂北	数学B
		大崎海星	化学基礎
			英語表現 I ※
	大柿 賀茂北 大崎海星	国語総合 数学A	
大柿・賀茂北・大崎海星で合同	数学Ⅲ※		
西	広島国泰寺	佐伯	地理B※
		加計	生物基礎※
		加計芸北	世界史A
	佐伯・加計で合同	数学B	
	加計・芸北分校で合同	政治・経済	
	佐伯・芸北分校で合同	グリーンライフ	

(※は、試行を開始した科目等)

【遠隔授業の様子】



配信校（福山誠之館高等学校）



受信校（油木高等学校）

(4) 今後の対応

今後は、令和4年度にかけて遠隔教育の試行を進めて、配信校と受信校との連携の在り方や授業の運営方法などについて検証を行っていき、明らかになった課題を整理・分析して具体的な対策の整理を行うというPDCAサイクルを積み重ねることで、令和5年度の本格実施につなげていく。